

月刊

税理士事務所

CHANNEL

●監修●
ミロク会計人会連合会

2011.10

No.362



撮影：浦田 敏仁 場所：大倉山ジャンプ競技場（札幌市中央区）

10

ま る ご と 北 海 道 会

- 事務所訪問 ● 税理士法人 中央総合会計 …… 2
- 百年企業 ● (有) 酒本商店 …… 5
- 会計事務所と顧問先のための事業継承計画(BCP)について その1 …… 6
- MJS サービスを活用した事務所経営 ● 菊池洋一税理士・行政書士事務所 …… 8
- 我が事務所の顧問先紹介 ● (株) ユートピア知床 …… 10
- ご当地自慢 ● 北海道函館市 …… 12
- MJS TOPICS ● バックアップ応援キャンペーン …… 14
- ミロクシステム Q&A ● 『ACELINK Navi 国税電子申告(よくあるお問い合わせ)』 …… 15
- リレーエッセイ ● 北海道ミロク会計人会 内田勇介 …… 19

★次号は“まると東北会”です。

地域貢献がモットー!! 税理士業務と地ビールで 旭川経済を元気にする!!



税理士法人 中央総合会計

豊富な経験を積んだ 東京での税理士時代

— 現在は旭川に事務所を構えられています。最初は東京で開業したそうですね。

井内 東京の神保町（東京都千代田区）で開業しました。たまたま友人が海外に赴任することになり、その空き部屋を事務所として使わせてもらいました。その頃は先輩の税理士から多くの相続や複雑な監査業務の案件、学校法人や社団法人の設立など、おもしろい仕事をふってもらってそれをこなしていました。今の私の仕事の基盤はこの時期に培われたものだと思います。特に当時は資産税に強い先生が少なかったので、相続関係

東京で開業し、現在は北海道旭川市に事務所を構える井内敏樹先生。日本総研や(株)オリジナルコンフィデンス(オリコン)での勤務経験を持つ異色の税理士です。一昨年には池田守税理士事務所と合併して、税理士法人を設立。また、地ビールメーカーの大雪地ビール(株)代表取締役の顔も持たれています。さっそく、そんな井内先生のお仕事ぶりを拝見しました。



住 所／〒070-0037 北海道旭川市7条通13丁目59番地4
T E L：0166-25-4131
F A X：0166-25-4132
創 業／1986年
職員数／22名
導入システム／ACELINK Navi
<http://www.csk-i.com/>

の経験を豊富に積むことができたのは大きな糧となりました。

— 旭川にはいつ頃お戻りになったのですか。

井内 昭和61年に父の具合が悪くなったのを機に戻りました。父は私が帰る前に亡くなってしまったのですが、もう旭川で事務所を開業する準備を進めていたので、そのまま戻ることになりました。東京で知り合った経営者から札幌や帯広の会社を紹介されスタートしましたが、顧問先を着実に増やすことができました。

旭川に戻ってからはとにかく人間関係を大切にしようと思い、青年会議所やロータリークラブなどのあらゆる会合に出席するようにしました。振り返ってみると、平日は家で食事



地ビールメーカーも経営する井内先生

をするのが年に2、3回程度だったように思います。そして、ちょうどその頃からセミナーの講演なども引き受けるようになりました。なかでも、自分が苦手だと思う分野の講師は積極的に引き受けるようにしました。人前で話すとなると準備のために十分な勉強をしなければなりません。そのおかげで苦手な分野をどんどん克服することができ、オールラウンドな知識を得ることができたと思います。幅広い分野に対応していくことで、金融機関からの相談なども増え、自然と顧問先の増加にもつながりました。

—現在の事務所は無垢の木材をふんだんに使われていますが、いつ建てら

れたのですか。

井内 この事務所は平成16年に完成しました。会計事務所というところ、どこか暗くて硬い印象があるので、できるだけ明るい雰囲気になるように心がけました。たとえば、いろんな絵画を揃え、事務所に飾るようにしました。また、2階には会議室や応接室のほかに茶室があります。私がお茶に造詣が深いわけではないのですが、靴を脱いで落ち着ける場所がほしいと思いつくことにしたのです。ちなみに、事務所では茶室以外は靴を脱がなくていいようにしています。

事業承継を目的に 税理士法人を設立

—税理士法人中央総合会計を設立した経緯についてお聞かせください。

井内 当税理士法人は2年前に、故・池田守先生（北海道旭川市、前ミロク会計人会連合会会長）の池田守税理士事務所と税理士法人を設立しました。そのキッカケは5年ほど前にさかのぼります。その頃、池田先生は大きな手術をされ、事務所の事業承継について考えられていたそうです。やはり個人事務所では取引先や職員に不安な気持ちをもたせてしまいますから。私自身も同じように考えて

いたところ、池田先生からお声掛けいただき、法人化の話を進めることになったのです。

しかし、いざ法人化となるとなかなか踏み切りがつきませんでした。そこで、準備期間を区切って、諸規定などの細かいことは税理士法人を立ち上げた後に作ることにして設立にこぎつけました。

—設立にあたって注意したことはありますか。

井内 最初の頃はそれぞれの事務所で独立採算を行い、最後に合算して決算する方式にしていました。また、業務に関しても当初はそれぞれの事務所で行っていたのですが、設立年の

税理士までの道のり

先生は大学卒業後、(財)日本総合研究所に勤務し、数々のリサーチ業務を担当してきたそうです。ところが、慌ただしい業務に追われるうちに、もっと自由度が高く地域の役に立つ仕事がしたいと感じるようになり、税理士を目指すことにしたといいます。とはいえ「経済学部卒だったものの、特に簿記の勉強をしたこともなかったので、ほとんどゼロからのスタートだった」そうです。その後、会社勤めや東京会計専門学校の講師を経て、東京の会計事務所での実務経験を積みながら試験勉強に励んだそうです。そして、昭和59年には友人からの依頼でオリジナルコンフィデンス(オリコン)に入社して経理業務を担当した後、昭和60年に試験に合格、東京で事務所を開業したのです。

11月に池田先生がお亡くなりになったため、私のほうの事務所に集約させることにしました。そして、その際には私の事務所の職員と池田先生の事務所の職員を一緒にして再配置することで、事務所間の垣根をなくすようにしました。おかげで、今ではみんな仲良く業務に励んでいます。

—給与の違いはどのようにして解消していききましたか。

井内 給与の総額はそれほど変わらなかったのですが、賞与の出し方などに大きな違いがありました。池田先生はその年その年の働きぶりに応じて賞与を決定していたのですが、私のところではそれほど変化を持たせてい

なかったのです。ですから、最初は賞与・給与計算に苦勞しましたね。

―池田先生がお亡くなりになったことで、新規の税理士を採用する必要があったのではないですか。

井内 税理士がひとりになった場合、半年以内に社員税理士として入社させなければいけないので、早急に探す必要がありました。しかも、半年というのは申請するまでの期間ではなく登記完了までの期間ですので、あまり時間がないわけです。運良く良い方を迎えられたので助かりました。

地ビールメーカーの経営で地域貢献を目指す!!

―ところで、井内先生は事務所経営のほか、地ビールメーカーである(株)大雪地ビールの経営も行っているそうですね。

井内 そもそも大雪地ビールは築100年以上の赤レンガ倉庫を有効利用して、観光振興と地場産業の発展につなげていくという取り組みで立ち上げられた会社です。私は顧問税理士として立ち上げから関与していたのですが、同社の経営状態は10年ほど前から悪化していきました。そこで、従来の株主構成を変え、抜

本的な経営体制の見直しをはかったのですが、その中で当時の社長から代わりに社長になってほしいと依頼され、最後には引き受けざるをえなくなったのです。

この大雪地ビールではビール造りはもちろんのこと、レストランではジンギスカン料理の提供などもしています。赤レンガ倉庫のなかで地ビールとジンギスカンを楽しめるということで、現在では、旭川観光のひとつの目玉になっています。税理士業務をしながら、経営を行うのは大変ですが、旭川の地域経済の底上げのためにも尽力したいと思っています。

―ところで、MJSのシステムはいつ頃から導入しているのですか。

井内 15年ほど前から使用しています。最初は別の会社のシステムを使っていたのですが、更新を検討する時に、業界のベンダー数社にプレゼンやデモンストレーションをしてもらいました。その結果、当時からパソコンに対応していたMJSを採用することになったのです。また、他社に比べてMJSのシステムが私が望むきめ細やかな設定ができることも好印象でした。

―これからも旭川の地域経済を元気にするために頑張ってください。本日はありがとうございました。



事務所風景

百年企業

● (有) 酒本商店

住所／北海道室蘭市祝津町2丁目13-7
TEL 0143-271111
http://sakemoto.org/

地酒頒布会やオリジナル日本酒造りで オンリーワンの酒屋に成長!!

今年で創業100周年を迎える室蘭市の(有)酒本商店。町の酒屋として、長年にわたって地域で親しまれてきたお店だ。そんな同社は現社長の酒本久也さんの行動力とともに、日本酒ファンから脚光を集めるようになっていった。はたして、酒本社長はどのような取り組みで、同社をオンリーワンの酒屋に成長させたのだろうか。

(有)酒本商店の創業者、酒本久平は明治44年、石川県から室蘭市に入植し、漁業を営みはじめた。そして、その妻であるソトは漁船員のために小さな雑貨店を開業、これが酒本商店の起源となったという。戦後には漁業を辞め酒類をはじめとした小売業に専念するようになり、現在の酒本久也社長(3代目)の代になってからは酒類専門店へと変化を遂げた。

酒本社長は「一度飲んだ酒の味は忘れない」という特技の持ち主。人気漫画『夏子の酒』の主人公「夏子」の利き酒能力のモデルになり、酒屋の「保本さん」のモデルとなったことでも知られる人物だ。そんな酒本社長が日本酒の魅力の虜になったのは20代の頃のこと。ある日「ふと口にした純米吟醸酒の旨さに衝撃を受け、徐々に店の



オリジナル日本酒「蘭の舞」を持つ酒本社長。
隣にいるのは妻の のぶ子さん

棚に純米酒を増やしていった」という。こうして昭和61年には「地酒祭」という独自の試飲会を開催。「単に店に日本酒を並べても思うように売上げが伸びなかつたので、少しでもお客が日本酒にふれる機会をつくらう」と思い開催した。蔵元に協力してもらって、美味いがなかなか知られていない酒を揃えてみた」という。すると、参

加者から「初めて聞く銘柄だが美味しい」といった声が。この評判が口コミなどで広がり、気付けば「酒本商店が薦める酒なら間違いない」といわれるようになっていった。

このイベントを成功に導いたのは酒本社長の徹底したこだわりだ。「雑誌や居酒屋で気になる酒を見つけたら、すぐに蔵元のところに飛んで行くようにした。そして、絶対に妥協せずに、自分が美味しいと思ったものだけを売るようにしてきた」という。

そのこだわりは酒造りにまでおおよんでいった。酒本社長は昭和63年から酒本商店のオリジナル日本酒「蘭の舞」を製造しはじめたのだ。これは銘酒「日置桜」の蔵元である鳥取市の山根酒造とタイアップして製造したもので、酒本社長が山根酒造のタンクを借り、みずから酒造りを手掛けた逸品だ。「当初は道内の蔵元に依頼したが、採算が合わないということで断られてしまった。そこで、ダメもとで取引先の山根酒造さんに頼んだら快諾してもらえた」という。

このように、まさに酒一筋に生きる酒本社長だが、そのモットーは「とにかく酒屋として、当たり前のことをし続けること。何よりも蔵元が造ったものを最良の状態でお客に届ける。そして、蔵元の意志をお客に伝える

ことが大切だ」と。実際、酒本商店の店舗を訪ねてみると、酒の種類もさることながら、酒の性質に応じて冷蔵庫を使い分けるといった管理体制に驚かされる。

今後の展開については「酒の卸売免許を取得したので、全国の道の駅の酒コーナーをプロデュースしていきたい」と酒本社長は意欲的だ。創業100周年を迎えた今も、その夢はますます膨らんでいるようだ。

〈後藤俊夫の百年企業レポート〉

なかなか差別化をはかることが難しい酒屋という分野において、酒本商店は見事に差別化をはかることに成功しています。また、最近では日本酒はもちろんのこと、ワインの販売にも力を入れているようです。たとえば、飲食店やホテルで「お酒と料理のマリアージュ」をテーマとした企画やコーディネートなどを手掛けたり、チーズの頒布会を開催したりしているそうです。

ところで、今年で創業100周年を迎える同社は、11月5日に室蘭、6日に札幌で「100周年記念地酒&ワイン祭」を開催します。当日は記念限定酒を発売するそうですから、日本酒・ワインファンの皆さんは足を運んでみてはどうでしょうか。

後藤俊夫教授 東京大学経済学部卒業後、ハーバード大学でMBA取得。日本電気株式会社(NEC)に入社、ソリューションビジネス事業推進本部長等を歴任。静岡産業大学教授を経て、05年光産業創成大学院大学教授を経て、日本経済大学教授に就任。専門は経営戦略(ファミリービジネス)。

なぜ、BCPが必要なのか

平成23年3月11日の東日本大震災以降、BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）に対する意識が高まっています。会計事務所や顧問先企業においてもリスク管理という観点から、今後、BCPへの取り組みが必要になると考えます。そこで本誌10月号と11月号の2回にわたり、BCPの概要とBCPに照らし合わせたMJSソリューションの活用事例をご紹介します。

BCPとは、事故や災害など緊急事態が発生した際に、事業資産の損害を最小限に食い止め、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とする平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続の方法、手段などを取り決めておくことです。

BCPを策定しておけば必ずしも迅速に復旧が行えるというものではありませんが、日頃から災害に対する対応方法を策定していれば、いざという時災害による被害を最小限に抑え、早い復旧が行えるようになります。

しかしながら、会計事務所や中小企業におけるBCPの策定は、あまり進んでいないのが実情です。

BCP策定・運用の目的

企業が生き抜くためには、従業員とその家族の生命や健康を守った上

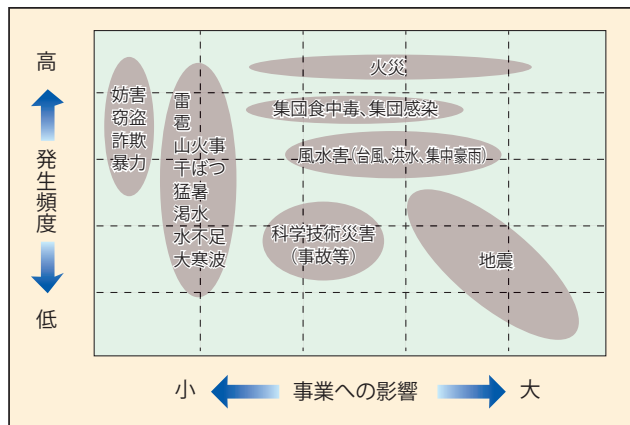
で、事業を継続して顧客の信用を守り、売上を維持する必要があります。事業と売上が確保できれば、従業員の雇用も守ることができます。同時に地域経済の活力を守ることもつながります。

BCPを策定し運用する目的は、緊急時においても事業を継続できるように準備しておくことで、『顧客からの信用』、『従業員の雇用』、『地域経済の活力』の3つを守ろうとすることです。

BCP策定の必要性

東日本大震災以降、「リスクⅡ地震」のように考えられがちですが、地震以外にも自然災害は発生しており、今年に入ってからだけでも、山陰地方の大雪、霧島山（新燃岳）の噴火、台風による風水害等の大きな災害が発生しました。また、自然

図：企業を取り巻くリスクイメージ



中小企業庁「BCP策定運用指針」より

要となるのです。そして、BCPを準備しておくことは、緊急時における事業の継続・早期復旧を実現させるだけでなく、顧客からの信用の維持や、市場関係者や株主からの評価の向上につながります。以前は、特に大規模災害により被災した会社の事業中断に対しては、取引先企業からの温情等により、ある程度の免責的な措置が採られることもありましたが、昨今のグローバル化の進展の中で、事業の競争環境が一層厳しくなっており、「緊急事態発生時だから、事業中断は仕方がない」では通用しなくなっています。今後はBCPを公表し、その計画に基づいた事業継続が求められているのです。

BCPの策定手順

中小企業庁「BCP策定のためのヒント」によれば左記表1のように10のステップで進めるように示されています。

ここで、会計事務所にあてはめてBCP策定を考えてみたいと思います。

まず、●ステップ1では、地震・津波が発生したと想定します。●ステップ2は、会計処理や申告業務、経営相談業務となります。●ステップ3～6では、リソースベースによ

表1：BCP策定のステップ

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
1年間の活動を総括して、BCPを見直す。	今後、実施すべきことを整理し、計画的に進めていく。	安否確認と取引先との連絡手段を考える。	従業員、取引先などの共通認識を持つ。	対策や代替手段を考える。	資金調達についても考えておく。	復旧に長時間を要する資源を特定する。	中核事業を復旧させる目標時間を設定する。	自社の存続に関わる重要な業務を挙げてみる。	自社が遭遇する重大な自然災害などを確認する。

り①建物（施設）、②設備、③情報システム、④人的資源（事務所の職員）、⑤取引先、⑥金（資金）の6つの視点から検討していきます。仮に事務所が損壊し、申告業務に不可欠なコンピュータ等が破壊され会計処理・申告データの復旧ができなくなった場合、申告期限までの復旧対応方法や、職員が出社できなくなった場合などを想定して対策を検討します。●ステップ7～8では、避難手順、事務所滞留者、帰

表2：BCPのテスト検証項目

検証項目	種別	実施方法
体制の確立	BCPのテストとして実施	机上（文書レビュー）
緊急連絡網・安否確認	BCPのテストとして実施	実践
消防・避難訓練	防災訓練として実施	実践
システム障害訓練	BCPのテストとして実施 個別システムの障害訓練として実施	実践・机上
BCP総合訓練	関係部署を対象とした総合訓練	実践

経済産業省「事業継続計画策定ガイドライン」より

宅者の支援手順（備蓄品配布、被災状況や、安否確認の為の情報連絡手段等）、クライアントである顧客との連絡方法について検討します。●ステップ9～10では、具体的な対応策について、復旧の優先度の高い業務を選別し、必要な資源の導入、教育、テスト（表2）を事前に実施し継続的に維持・改善（BCM：事業継続管理）していきます。

■会計事務所に求められる最優先の対策

災害時に会計事務所業務を続けるために最も重要なことは、「事務所職員の安全確保」と「顧客の会計・申告データ保全」です。

事務所職員の安全確保には、今回の震災で問題となったように固定電話や携帯電話が繋がりにくくなってしまう中で、インターネット上のメール、Web、SNS、インターネット電話が機能しました。これらを有効な手段として検討されることをお勧めします。

また、顧客先のデータを預かり処理している会計事務所では、顧客の会計・申告データの保全が重要なテーマです。加えてコンピュータ等の情報システムの停止が事業の停止に直結するので万全な対策が必要です。

■情報システムに関するBCP

情報システムに関して、最も重要なことは「データ」を守ることです。ハードウェアやソフトウェアは損壊してもお金で買い戻すことができます。しかし、顧客のデータをはじめとするその企業が保有する独自のデータはお金で復旧すること

はできません。

今回の東日本大震災以来、インターネット経由で堅牢なセンタにデータをお預かりする『MJSセキュリティストレージサービス』の申し込みが急増しております。実際に東日本大震災で被災されたお客さまの中で、同サービスを利用して速やかにデータを復旧することができた実例があります。同時に、高速に大量のデータをバックアップ・リストア（修復・復元）し、システム障害からの速やかな復旧のために小まめにバックアップを行う『Symantec System Recovery』と『NAS（ネットワークに直接接続するハードディスク）』の組み合わせも、効果的です。

次号では、BCPに照らし合わせてMJSの様々な商品・サービスの活用事例を紹介いたします。

執筆／株式会社ミロク情報サービス

会計CP事業本部

営業推進部サービス企画グループ

部長 加藤 武史

〈引用・参考〉

「BCP策定のためのヒント」経済産業省中小企業庁

「中小企業BCP策定運用指針 第一版」経済産業省中小企業庁

「事業継続計画策定ガイドライン」経済産業省

顧問先の望むものを提供し、100%の満足度を得るためにも、顧問先情報のデータ管理は必要です!!

顧問先カルテ、プロセスマネージャーやスケジュール管理など、事務所内の業務をできるところから電子化。最終的には業務の標準化、見える化を実現し、真の顧問先満足を目指す菊池洋一税理士・行政書士事務所。その取り組みについて、菊池洋一所長にMJS札幌支社の織田支社長が聞いてみた。

織田 特に、顧問先管理の必要性を感じたのはいつ頃ですか。

菊池所長（以下、敬称略）特に意識したことはないんですが、きつかけといえ、請求書作成をシステム化した時でしょうか。

以前は、税理士会の標準請求書用紙に担当者が手書きで記入していました。MJSの事務所請求管理システムを利用するようになって請求書作成の時間も短縮できましたし、それ以上に手書きの時にはできなかった「報酬の多い順に並び変え」や「業種別に確認」ができるようになりました。

織田 業種別に何を確認さ

れているのですか。

菊池 顧問先を中分類や小分類別に件数を見ると「医療法人が何件あるな」「思っていたより不動産業が多いな」といった気付きがあります。私の事務所は、地方の古くからある会計事務所です。そのため、「何でも屋」なんです。業種特化・業務特化は新たな経営方針を打ち出すときの切り口になるかなと思っています。

織田 業務特化すべき点は見つかりましたか。

菊池 なかなか難しいですね。様々な業種の顧問先が数件ずつ幅広くあるため、やはり何でも屋でなくてはなりません。東京など都市圏ならば「業種に特化できるのでは」ですが、地方は難しいと感じています。しかし、業種別の報酬の平均が見えてきますから、顧問先管理・事務所請求書管

理を利用した価値はありました。

織田 顧問先管理を利用するようになって決算などに変化はありましたか。

菊池 今までは1月決算はここ、2月はここといった管理しかしていませんでした。現在は、担当者別や業種別といった違った観点からも管理しています。

顧問先カルテも重要だと思います。当事務所を選んでいただいた理由など、電子化して顧問先カルテにしておけば、いつでも確認できますので安心です。つい話してはいけないことを言ってしまうなどのミスも顧問先カルテを見ることが防止できます。

初めてお客様になつていただいた時の喜びと感動を忘れないためにも、振り返りは大切です。

織田 初心を忘れないということですね。

顧問先の経営支援のためにも、顧問先情報が管理できるカルテの作成は不可欠

菊池 顧問先の事業継続を考える上にもカルテは有効です。災害時の保険、相続時の納税など、それぞれの顧問先



MJS 札幌支社
支社長 織田耕治

に潜んでいるリスクを洗い出し、事務所と顧問先で情報共有し、忘れることなく確認していくことが大切です。

織田 顧問先の情報をデータ化して、事務所の業務に変化はありましたか。

菊池 実際に何かを大きく改革したということはありません。しかし、会計事務所としてこのままでは良くないと感じています。

事務所自体の改革は、職員を中心に進めています。「既存業務の見直し」「新業務・新業態・新エリアなどの新しい形の付加価値」について取り組んでいます。特に、既存業務である記帳代行や月次監査の部分で「採算

は合っているのか」「無駄な処理はないか」などのテコ入れが必要だと思っています。

織田 事務所が変わらなければいけない理由に顧問先の変化を感じますか。

菊池 やはり感じますね。インターネットが普及したせいでしょうか、顧問先自身が情報をたくさん持てるようになりました。会計事務所業界に絞っていえば、20年前には会計事務所を比較検討できる情報はほとんどありませんでした。今は山ほどあります。先日小樽市内のお客様に別の会計事務所から報酬の見直しに関するダイレクトメールが送られてきました。

また、北海道内でも全国規模の税理士法人などが進出してくれば、風向きも変わってきます。小樽では、まだそのような話はありませんが、すぐそこまで来ているという感覚はあります。

織田 危機感を持っているということですね。その中で顧問先との関係強化をどのようにしていくか考えていますか。

菊池 担当者と顧問先のやりとりを電子的に管理したいと思っていますが、現在は紙で残すのみです。とはいえ、今まで電話で済ませていた質問や回答をメールで行うようにはしています。それが、自然に対応履歴とし

て残ります。今後の課題は、メールのやりとりも含め、電子的に管理する方向で進めていくということです。

織田 ペーパーレス化ですね。何か参考にされていますか。

菊池 昨年いただいたミロク会計人会連合会の情報ネットワーク委員会が作成した小冊子を拝見しましたが、DocsWorksやらファイリングなどペーパーレスに取り組まれておられる実例を見て、見習わなければならないと思いました。

最近気付きましたが、書類が整理できていないと自分自身の頭の中も整理できないですね。物事を考える、方針を立てる、顧問先のことを考えるにしても、すっきり整理されていないとよい考えは浮かびません。

そこで、職員が自主的に4階の書庫を整理してくれて研修会議室を設置しました。所内やお客様への経営革新の勉強会の場所になっています。

織田 その他、ACELINK Naviの機能で活用されているものはありますか。

新たなサービスとして、経理処理マニュアルや試算表のカスタマイズなどに挑戦

菊池 私のスケジュールは全てACELINK Naviのスケジュール管理で行っています。この機能無しでは、今や仕事が進みません。数カ月

先、来年のスケジュールまで登録できるし、逆に去年のスケジュールを確認することもできるので、非常に役立っています。

他には経理処理マニュアルが作成できる、プロセスマネージャーも使っています。新たな顧客への記帳指導マニュアルとして活用できます。今後は事務所で使用している専用の日計表の書き方など、オリジナル項目を追加して、経理処理マニュアルを商品化していきたいと思っています。お客様一件、一件のためのテキストがあつてこそ、経理指導したといえます。

織田 新たなサービスとして活用したいということですね。

菊池 新規の顧問先の中で起票ができる所、できない所など様々です。すべてのお客様にあつたマニュアルを作成できてこそ、業務の標準化が実現でき、誰が担当しても同じサービスをお客様に提供できるようになります。それが料金の正当化にもつながります。

お客様要望をヒアリングして、お客様の経営に役立つ試算表を提供できることが大切です。MJSならば、試算表のカスタマイズも可能ですから、そこを使いこなせば100%お客様に満足いただけるサービスが提供できます。その要点を顧問先から聞き取ることができ、実行できる職員になつてほしいです。

顧問先が望んでいるものを望んでいるだけ提供したいんです。事務所サイドの都合で行うのではなく、標準的に行えることが大切です。当然、法制度は万全に守れなければなりません。それができるのが、MJSのシステムだと感じています。

織田 私どもMJSもお客様が必要とする情報を提供していきたいと思っています。今後とも、よろしくお願いいたします。

菊池 洋一 所長



取材事務所：菊池洋一税理士・行政書士事務所

所長：菊池洋一

〒047-0031

北海道小樽市色内

2丁目18番10号

(坂田ビル)

TEL.0134-22-5111

導入システム/ACELINK Navi

※ ACELINK Navi は、(株)ミロク情報サービスの登録商標です。
※ その他の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

我が事務所の顧問先紹介

株式会社ユートピア知床のモットーは「知床ならではの魅力」を届けること。知床でとれる新鮮な魚介類や鹿肉などの食材を取り扱い、北海道斜里郡斜里町の3つの観光施設で、氷温食品研究所で製造した氷温加工食品やお土産品などを販売するなど、まさに知床をベースにしたサービスで成長を続けるユートピア知床の喜來規幸社長に、石倉輝一郎税理士事務所の石倉輝一郎所長が訪問インタビュー。

石倉所長（以下役職略） 設立の経緯についてお話しください。

喜來社長（以下役職略） 1988年（昭和63年）に創立しました。斜里町が「財団法人自然とびあしれとこ管理財団（現・知床財団）」を設立するにあたって、自然センターのレストラン・売店の営業、知床五湖レストハウスの営業などは、地元関連業者が運営できるように斜里町に陳情したところ、斜里町商工会ウトロ地区会の会員の出資による株式会社で行うべきということになり、株式会社ユートピア知床が設立されることになりました。

その後、05年（平成17年）には知床が世界自然遺産登録となり、観光

客が一気に押し寄せてきました。そんな中、07年には「道の駅 うとろ・シレットク」がオープンし、当社はそこでもレストラン・売店の営業を行っています。

石倉 どのような経営理念をお持ちですか。

喜來 社是にも謳っていますが、郷土の繁栄に貢献し、地域の人づくり町づくりに尽力したいと思っています。知床を訪れるお客様の期待を裏切ることなく、さらなる知床の発展に貢献することが大事だと思っています。

石倉 3つの観光施設と氷温食品研究所がありますが、それぞれの紹介をお願いします。

喜來 ひとつ目の「道の駅ウトロ・シ

レットク」は国道334号沿いにある知床の観光拠点です。名前の「シリエトク」とはアイヌ語で「地の果て」を意味しており、知床の語源となっている言葉でもあります。

ふたつ目の「知床自然センター」は知床の大自然を楽しむベーススポット「フレペの滝」へ続く遊歩道の入り口に位置し、知床の自然を体験する観光客の必須スポットです。高さ12㍎、幅20㍎の大型スクリーン「ダイナビジョン」では、知床



道の駅外観

石倉所長



の貴重な映像の上
映や知床の自然に関する
情報やネイチャートレイル
の案内、専門家によるフィール
ド講座なども行っています。

3つ目の「知床五湖パークサービスセンター」は知床五湖のほとりにたつ山小屋で、夏期は知床五湖の遊歩道を散策する観光客の皆さんで賑わいます。知床五湖は「神様が五本の指をついて、五の湖ができた」という伝説が残る湖です。原生林に囲まれた湖の周りには遊歩道が整備されているので、誰でも気軽に自然探索を楽しめます。運が良ければエゾシカやキタキツネといった野生動物に出会えるかもしれません。

なお、当社はこれら施設内の売店やレストランを運営しています。レストランでは鹿バーガーやまなす&こけもソフトクリームやいくら丼な



鹿バーガーとはまなす&こけももソフトクリーム

どをお楽しみいただけます。また、「売店」では知床ひぐま大和煮などの知床オリジナルのお土産などを豊富に取り揃えています。

最後は「氷温食品研究所」です。

ここは当社が製造・販売する知床産の材料を使った加工食品や珍味をつくる工場です。通常の製造ラインのほかに「氷温乾燥庫」※1を有しており、ここから同社自慢の「氷温加工食品」（氷温で熟成させた鹿ジャッキー、鮭チップス等の知床珍味）が生まれています。

石倉 3・11の東日本大震災の影響はありませんか。

喜來 風評被害といいますが、福島第一原発事故の影響で外国からの観光客が激減しました。

石倉 今後の展開についてお聞かせください。

喜來 現在食の安心・安全が求められている中、当社は氷温研究所で衛生管理方式のHACCP（ハサップ）※2を導入するなど、新たに設備投資を行い安全・安心な環境でオジリナリテイのある新商品の開発を行ってきたいと思っています。

それから海外からのお客様に来ていただくために、知床斜里町観光協会を中心として中国や台湾、香港のエージェントと航空会社の方々に来てもらい、説明会と懇談会などの活動を行っています。効果が出るまでには2、3年くらいはかかるでしょうが、何とか成功させたいと思っています。

石倉 本日はお忙しいところありがとうございます。今後とも知床のため、引いては北海道のために努力をお願いします。

〔注釈〕

※1.「氷温乾燥庫」とは、摂氏0℃食品が凍り始めるまでの気温「氷温」により、新鮮な海の幸を自然な美味しさをそのままに熟成させることができる設備です。

※2. HACCP（ハサップ）とは、食品の衛生管理の方式のひとつです。原料の入荷から製造・出荷までのすべての工程において、あらかじめリスクを予測し、それらを防止するための重要管理点（CCP）を特定。そのポイントを継続的に監視・記録し、異常が認められたらすぐに対策を取って解決するというものです。そのため、不良製品の出荷を未然に防ぐことができるのです。

石倉輝一郎税理士事務所との関与の経緯

喜來 株主である斜里町商工会ウトロ地区会の関与をされていた関係で、創立時からお願いしています。取締役会にも参加いただいてご意見をももらっています。それから、先生の紹介でMJSさんの財務大将、販売大将、給与大将を導入しています。最近ではポスレジ連動を導入し、レジの簡素化と売れ筋商品の把握に役立っています。



喜來社長

■訪問事務所概要

事務所名…石倉輝一郎税理士事務所
代表社員…石倉 輝一郎
住所…〒093-0007
北海道網走市南7条東5丁目6番地
TEL…0152-144-2351

■紹介会社概要

商号…株式会社ユートピア知床
所在地…〒099-14353
北海道斜里郡斜里町ウトロ中島1-13
TEL…0152-124-2306
設立…1988年7月
代表者…喜來 規幸
資本金…3,020万円 604株
事業内容…知床自然センターの売店およびレストランの経営、知床五湖パークサービスセンター売店の経営、道の駅ウトロ・シリエトク

売店およびレストランの経営、観光土産品の開発および卸業務および販売、水産加工品製造販売、そうざい製造販売、魚肉ねり製品製造販売、食肉製品製造販売、めん類製造販売、アイスクリーム類製造販売、かん詰又はびん詰食品製造販売。

●知床自然センター

〒099-14356 北海道斜里郡斜里町イフウベツ53-1

●知床五湖パークサービスセンター

〒099-14100 北海道斜里郡斜里町岩尾別知床五湖

●道の駅ウトロ・シリエトク

〒099-14354 北海道斜里郡斜里町ウトロ西1-86-18

●氷温食品研究所

〒099-14353 北海道斜里郡斜里町ウトロ中島1-13

ご当地自慢

北海道函館市

案内人／三沢洋大税理士事務所

三沢洋大 所長

私が住む函館は開拓以来、漁業のまちとして知られてきました。とりわけイカの水揚げ量は全国屈指で、函館のイカといえば全国的にも知られるブランドです。また、函館は北海道でいち早く欧米文化が花開いた場所でもあり、見所の観光スポットや産業もたくさんあります。今回はそんな函館の魅力の一部をご紹介します。

幕末ファン必見!! 五稜郭の「函館奉行所」



再建された「函館奉行所」

函館の観光地といえば五稜郭でしょう。五稜郭とはヨーロッパの城塞都市を参考にしてつくられた外堀のこ。安政4

年（1857年）に築造がはじまり、元治元年（1864）にほぼ完成したといわれています。

もともと

五稜郭は函館奉行所の外堀として築造されたのですが、五稜郭が戊辰戦争の最後の戦いとなった函館戦争の舞台となった後に、内部の建物のほとんどは解体されてしまったのです。そして、昭和60年によく発掘調査がはじまり、平成18年から文献や古図面をもとに奉行所の復元工事がはじめられました。そして、平成22年に函館奉行所が再建されたのです。復元範囲は当時の3分の1にあたる1000平方メートルですが、その貫禄はなかなかのものです。また、奉行所内で函館奉行所の歴史や復元作業に関する展示を見ることができるようになっています。できたとホヤ



五稜郭

ホヤの観光地には是非とも足を運んでみてください。

函館の海幸を気軽に味わえる 回転寿司店「函館まるかつ水産」

函館で「マルカツグループ」という企業を知らない人はほとんどいません。同社は函館産の魚介類を使った加工品やお土産品を中心に販売する「はこだて海鮮市場」のほか、ホテルや美術館、地ビールメーカー「はこだてビール」なども経営している函館が誇る優良企業です。創業者の故・柳沢勝さんは倉庫と駐車場しかなかった函館のベイエリアを観光地として開発した立役者でもあります。

そんな同社が現在力を入れているのが回転寿司店「函館まるかつ水産」です。40年間培ってきた魚屋のノウハウを生かし、新鮮な函館の魚介類を



「函館まるかつ水産」にて、「魚長食品（マルカツグループ）」事業開発部長の佐々聖さん（左）と三沢先生

取り扱っています。しかも、回転寿司なので気軽に食べられるため、地元住民にも観光客にも愛されているお店です。特に函館特産のスルメイカは是非とも賞味してほしいと思います。新鮮なイカは透明感があり、コリコリとした食感が最高ですよ。

ちなみに、この回転寿司店は函館市内はもちろんのこと、現在は東京・六本木の「東京ミッドタウン」にも出店されています。「東京で函館の食材に興味を持っていただき、是非とも現地にお越しいただきたい」という思いで出店することになったそうです。関東在住の方には、まずは六本木で函館の味に触れていただき、お気に召したら是非とも当地まで来ていただきたいと思っています。

函館市民の憩いの場 函館山の麓にある「谷地頭温泉」

函館の温泉といえば、湯の川温泉が有名ですが、地元ではこの谷地頭温泉も絶大な人気を誇っています。場



函館市営の谷地頭温泉

所は路面電車の「市電宝来・谷地頭線」の最終電停「谷地頭」から徒歩数分。市営の温泉公衆浴場ということで、



谷地頭温泉の最寄の谷地頭電停

たった420円で入浴することが出来ます。その安さのおかげか、連日、地元の方たちで賑わっているスポットです。浴槽は高温、中温、気泡の3種類ですが、高温はかなり熱いのでまずは中温から入ることをオススメします。すぐ近くに函館山や函館八幡宮といった観光スポットもあるので、あわせて楽しんでみるのもいいでしょう。

函館土産の人気ナンバーワン フワフワ感で人気の 「チーズオムレット」

空港の土産店で大人気なのがスナッフルスの「チーズオムレット」です。フワフワとした食感と濃厚だけどやさしいチーズの風味が人気で、実際に食べてみると病みつきになること間違いなしの絶品スイーツです。本格的な洋菓子の味わいでありな

がら、手づかみで食べられるコンパクトなサイズと1個130円というリーズナブルな価格で人気を呼んでいます。

このチーズオムレットの独特なフワツとした食感の秘密は「手仕事」にあるようです。いまや多くの菓子メーカーが機械に頼る傾向があるなか、同社は人気が出た後も手作業で丁寧な生地作りを続けているのです。もちろん、素材にもこだわりがあります。大沼の山川牧場から仕入れたジャージー牛乳など、北海道ならではの食材をふんだんに使用しているのです。しかも、冷凍せずに毎日焼き立てを出荷しているため、そうした原材料の良さをしっかりと提供することができているのです。

ちなみに、スナッフルスを経営しているペシエ・ミニョンは、フランス菓子店「ペシエ・ミニョン」も経営しています。創業者はフランスで修業した経験を持つパティシエで、洋菓子に



ペシエ・ミニョン取締役の松浦績さん

は並々ならぬこだわりを持つていました。その思いがチーズオムレットにも息づいているように思います。函館にお立ち寄りの際には、是非とも土産に買ってみてください。

函館の水産物加工の老舗 竹田食品の「イカの塩辛」

函館でもっとも親しまれている食材といえばイカなわけですが、なかでもイカの塩辛はもっともポピュラーな加工品です。私が子どもの頃にはそれぞれの家庭で作るのが当たり前で、よくご飯に塩辛を乗せ、それにお湯をかけて食べていたものです。

この昔懐かしい塩辛を今も昔も作り続けているのが竹田食品です。その工場を見せたらうと、加工作業のほとんどが手作業であることに驚かされます。たとえば、解凍したイカをさばく工程では熟練した職人たちが並んで、アツという間にイカをさばいていきます。また、数日間にわたる熟成工程においても、攪拌作業は機械ではなく人力によって行われているのです。イカの状態や気候、湿度、発酵具合を正確に把握し、どの程度の勢いで攪拌すべきかを判断するのは職人の勘に頼らざるをえないそうです。



竹田食品常務取締役の林圭三さんと三沢先生

なお、同社はイカの塩辛のほかに、いろんな魚介類を使った松前漬や雪のような色合いの「白いカレー」、イカスミが入った「黒いカレー」など、200種類以上の商品ラインナップを誇っています。若い世代を中心とした商品開発チームも設置しており、常に新しい食文化への挑戦が続いているので、今後の商品展開にも大いに期待したいところです。また、事前に申し込めば工場見学をさせてもらうこともできるので、函館を代表する産業を見学してみるのもいいかもしれません。

そのほかにも、函館には活気に満ちた朝市や美しい夜景、石川啄木や土方歳三のゆかりの地など、さまざまな見所があります。是非とも一度、遊びに来てください。

ご当地自慢 北海道函館市

BCPを強化する「バックアップ応援キャンペーン」実施中!!

3・11の東日本大震災や台風による水害など自然災害が相次いでいます。そのなかで今注目されているのがBCP (Business Continuity Plan=事業継続計画)。いざという時に慌てないために、BCPの一環としてバックアップは大変重要です。

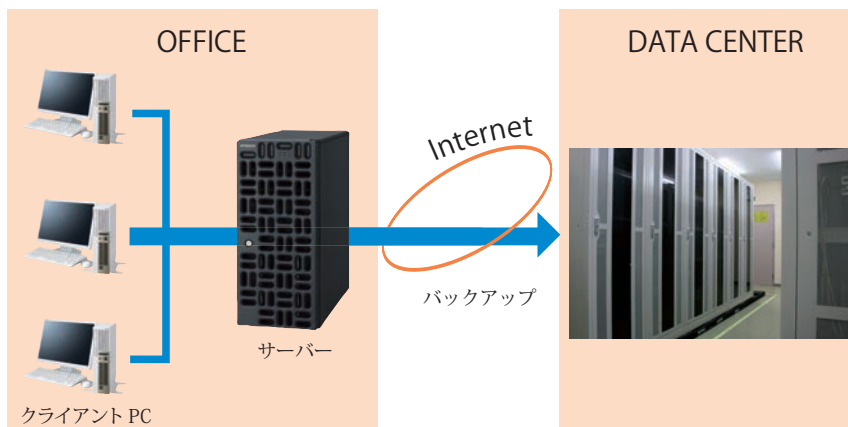
MJSでは「重要な業務データはMJSセキュアストレージサーバーで外部の安全なデータセンターへ」と「大容量のシステム環境はSymantec System Recoveryでオフィス内のNAS※へのキャンペーンでバックアップシステム活用を推進しています。貴事務所及び顧問先のBCP強化にお役立てください。

◆キャンペーン①

重要な業務データを災害時でも確実に保全!!

MJSセキュアストレージサービス無償モニターキャンペーン

期限：平成23年11月30日受付分まで
「MJSセキュアストレージサー



ビス」は、大切なデータをインターネットを利用して外部の堅牢なデータセンターへ安全にバックアップを行うサービスです。災害時でも確実に守りたい重要な業務データのバックアップに最適です。

【特典】

キャンペーンお申込日の翌月末まで5GBのストレージ通常月額利用料1万4700円(税込)が無料!!
セキュアストレージソフト2万6250円(税込)も無料!

※無償モニター終了後に本契約に移行される際はサーバー登録設定料3万1500円(税込)が初期費用としてかかります。

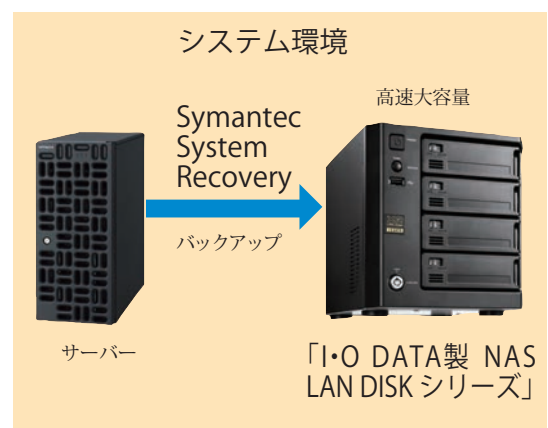
◆キャンペーン②

システム障害時に素早い復旧ができるシステム環境を実現!!

「Symantec System Recovery」
I・O DATA製NAS※
特別価格キャンペーン
期限：平成23年12月29日納品分まで

「Symantec System Recovery」はシステム環境を丸ごと簡単にバックアップして、システム障害時の復旧時間を大幅に短縮できるソフトです。

I・O DATAの「LANDISK」シリーズは、大容量かつ高速にデータを保存できるNAS、
「Symantec System Recovery」に



よるシステム環境のバックアップ先として最適です。

※NAS：ネットワークに直接接続するハードディスクのことです。

■キャンペーン申込及びお問い合わせについて

●「MJSセキュアストレージサービス」について

- ・見積を希望
 - ・キャンペーンに申し込みたい
 - ・キャンペーンについて話を聞きたい
 - ・詳しい話を聞きたい
 - ・詳しい資料が欲しい等
- 詳細は、担当支社の「バックアップ応援キャンペーン」係にご連絡ください。



会計人の リレーエッセイ

北海道ミロク会計人会 内田 勇介

海と畑のめぐみ

私は3年ほど前に北海道の十勝に東京から移住して参りました。それまでは北海道は縁もゆかりも無かったのですが、結婚した妻の出身地ということもあり北海道に移り住みました。我が事務所の所長・職員、地域の皆様をはじめ、ミロク会計人会の先生方、MJSの皆様方にも大変良くしていただき、充実した生活を送っております。皆様方と釣りに行くことがよくあります。

サケとカレイは夏の釣りの醍醐味。ワカサギは冬の釣りの醍醐味。他にも釣れる魚はたくさんありますが、サケ・カレイ・ワカサギの釣りが目下の楽しみです。



北海道に来るまでは
いっさい釣りをしたこ
とがありませんでした。

都心ではただスーパーで売っている魚、
居酒屋で出てくる魚を食べるのみ。

当たり前の話なのですが、魚が自然の海・
川・湖で育ち漁獲され、自分たちの食卓に
届いていることを体で実感しました。自分
で魚をさばきますと命のありがたみを感じ
ます。

今年2011年から畑での農作業もは
じめました。広い大地の北海道だからこ
そでできることかもしれません。きゅうり、
ピーマン、ブロッコリー、トマト、ナス、イ
チゴ、トウモロコシ、ジャガイモ、ホウレン
ソウ、ニンジン、
などなど。

まったく農業
のわからない私
が、畑を耕し、
種と苗を植え、
草を採り、添え
木を当て、何と
か収穫まで漕ぎ
着けました。そ
の味の新鮮なことは筆舌に尽くしがたい
ものがありました。



収穫期は毎日毎日食べきれないほどの
作物が獲れます。

海(川湖)と畑という自然から、直接食
べ物を受け取る経験をして、自分が自然
環境に生かされているありがたみを感じ
ます。税理士という仕事は事務所のパソ
コンの前で作業することが多く、仕事の
中で自然環境にたずさわることは多くあ
りません。

だからこそ海や畑の自然の恵みを受け取
る体験は非常に新鮮ですし、そこでの心
身ともに受け取れる恩恵が、会計人とし
ての仕事にさらなるパワーを与えてくれ
ています。

表紙の写真

「大倉山ジャンプ競技場」 (所在地：札幌市中央区)

大倉山ジャンプ競技場
は、1972年に開催された
冬季オリンピック札幌大会
でジャンプ競技場になった
ことで知られるラージヒル
のジャンプ台です。冬期に国際大会が数多く開催され
るばかりでなく、夏期もサマージャンプ大会が開催され
ています。大会が開催されない日は一般開放され、リフ
トで山頂まで上がり、標高300mから札幌、石狩湾、石
狩平野が一望でき、ジャンプ台スタートライン付近から
ジャンプ選手と同じ気分を味わうことができます。



月刊 税理士事務所 Channel

通巻 362 号

- 発 行／株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-29-1
TEL. 03-5326-0304 (ミロク会計人会事務局)
- 発 行 人／是枝 周樹
- 編集企画／ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局
- 配信制作／東方通信社
- 印 刷／御幸印刷株式会社
- 購読申込／株式会社ミロク情報サービス
- 禁無断転載

Canon
make it possible with canon

One Touch!

すべてのビジネス環境は、平等でなければならない。

あらゆるデジタル格差をなくし、新たなビジネスの自由を迎えるために…複雑な操作をワンタッチに！
キヤノンの次世代複合機、イメージランナーアドバンス。

例えば、美しいA4カラー、中綴じ製本印刷で30部…というプレゼンブックも、指先ひとつで軽々と。

誰もがストレスなく簡単に使えてこそ、最先端のテクノロジー。

ここに宣言しよう。人間の、人間による、人間のためのビジネスを実現するために、

複合機は、One Touchへ！

解放！ワンタッチで、デジタルワークを誰にでも。



**imageRUNNER
ADVANCE**



imageRUNNER ADVANCE C5051 □カラー/モノクロ毎分51枚(A4ヨコ)の高速出力 □カラー/モノクロ毎分70ページ(A4ヨコ、300dpi、片面スキャン時)の高速スキャン □ウォームアップタイム30秒以下(主電源立ち上げ時)

※上記製品には、オプションの中綴じフィニッシャー・C1などが装着されています。



◎キヤノン オフィス向け複合機 ホームページ
canon.jp/office-mfp



◎キヤノンお客様相談センター
イメージランナー
アドバンス **050-555-90056**

[受付時間] 平日 9:00~12:00/13:00~17:00(土・日・祝日および年末年始弊社休業日は休ませていただきます。)

※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話
番号をご利用いただけない方は03-5428-1263をご利用
ください。※受付時間は予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

カタログは、canon.jp/catalog からダウンロードしていただく。

ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン(株) カタログ請求[ImageRUNNER ADVANCE]係までお送りください。

※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報、は、カタログ送付の目的にのみ使用いたします。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社